

公表

事業所における自己評価総括表_放課後等デイサービス

○事業所名	インクルー日立教室		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 8日 ～ 2025年 3月 16日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 4人
○従業者評価実施期間	2025年 3月 17日 ～ 2025年 3月 25日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の特徴、ご様子に合わせて支援や療育を行います。 2つあるフロアで未就学児、学生、と分けたり、 運動が得意な人、苦手な人、と分けた支援も行えます。	児童のご様子を見ながらですが、 皆で参加するもの、個別で出来るもの それが出来るか、出来そうだけどまだ出来ない、 等、1人1人を細かく考えながら支援を行っています。	身体状況、特徴、状態でイベントを一概に考える事は せずに、 対応できる所では個別で特化しつつも、 集団生活をより楽しめる支援を行いたいです。
2	相談支援専門員、学校、関係する公共機関との 連携。	児童の問題を事業所だけで終わりにせず、 関わりのある相談支援さんとも共有し、 支援に繋がれるように働きかけています。	さらなる連携の強化です。 相談会、説明会、支援に繋がる機会には積極的に 参加し、多方面での連携強化を行っていきたいです。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフの配置人数は適正ですが、 日によっては個別での対応が求められるような 児童が集中する日もあるのかと思います。	児童の特徴や、不穏なご様子があった時での 的確な対処法の確立。	不穏そうな状態にとらわれず、 どのようになれば落ち着いて過ごす事が出来るか、 それを踏まえて成長に合わせた支援を考えていきたい です。
2	障がいの特性、関わり方の強化。	研修は充実していますが、スタッフの中には 今まで対応したことがない経験であった、 というものもあります。	現場でのとっさの判断が出来るように経験を重ね、 普段からスタッフ間での連携を さらに深めていきたいと思います。
3			

○事業所名	インクルー日立教室			
○保護者評価実施期間	2025年 3月 8日		～	2025年 3月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数)	11名
○従業者評価実施期間	2025年 3月 17日		～	2025年 3月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	名7	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の特徴に合わせて使用する場所を分けたり、支援内容を個人に寄り添えるように対応できることです。 運動療育での身体機能の向上、 ビジョントレーニングや日常生活での機能訓練もお子様の様子を見ながら行います。	保護者様と児童に関する情報交換、 相談を積極的に行い、 成長に合わせられる支援を考慮していきます。	各相談支援専門員さんとの連携を強化し、 保護者様の悩み、相談に対して、 より深みのある事がお伝えできるように していきたいと思います。
2	スタッフは運動の研修を受けたり、 eラーニングを使用して発達についての 学びを深めることが出来ます。	相談支援専門員さん、関りのある事業所様、 幼稚園、等との連携を図っています。 スタッフ1人1人が児童の情報をお伝え出来たり、 課題を共通認識し、 相談が出来るようにしています。	地域で行っている相談会、意見交換会等 療育、ケアにかかわる事は積極的に参加したいです。
3	午前中～児童をお預かり出来ますし、 保育所、幼稚園、こども園等にお迎えに伺えます。 帰日も送迎対応できます。 保護者様のお仕事やご都合に合わせてお預かりした り 時間も朝の受け入れや帰り時間の相談も可能です。	保護者様が相談しやすいように 普段からのコミュニケーションを積極的に とっています。	保護者様の状況にこちらから気付いて支援やご利用の 仕方などを勧められるように取り組みたいです。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフの配置人数は適正ですが、日によっては 個別での対応が求められるような児童が集中する日 もあるのかもと思います。	児童の特徴や、不穏なご様子があった時での 的確な対処法の確立。	不穏そうな状態にとらわれず、どのようになれば 落ち着いて過ごす事が出来るか、 それを踏まえて成長に合わせた支援を考えていた いです。
2			
3			